

地方都市における持続可能な「コンパクト+ネットワークシティ」の形成に向けて
ー多核ネットワーク型都市を形づくる『地域拠点』に着目してー

少子高齢化や人口減少化の時代にその必要性が問われ、全国の地方都市が目指している「コンパクトなまちづくり」とは、どのようなものなのでしょうか。

本講義では、持続可能なコンパクトシティや多核ネットワーク型都市を形づくる『地域拠点』に着目し、先進自治体の取り組み事例を紹介します。

また、地域の中心となる拠点の役割と姿、その実現に向けた様々な計画や事業の方法、プロセスプランニングについて考えていきます。

主 催：三重短期大学地域連携センター、三重短期大学地域問題研究所、合同開催

日 時：2018 年度 10 月 27 日（土） 13:30～16:00

会 場：三重短期大学校舎棟 4 階 45 番教室

申込先：三重短期大学地域連携センター TEL 059-232-2341 E-mail 232-2341@city.tsu.lg.jp

<プログラム>

主旨説明：三重短期大学地域連携センター長 石原洋介教授

三重短期大学地域問題研究所長 立石芳夫教授 (13:30～13:35)

【第一部 講演（事例報告と話題提供）】

1. 「都市構造からみた拠点とは何か、拠点の立地と役割」 (13:35～13:50)
福井大学大学院 工学研究科 建築建設工学専攻 教授 野嶋 慎二
2. 「連鎖型再開発による長岡市中心市街地の拠点形成」 (13:50～14:05)
長岡技術科学大学 大学院 工学研究科 准教授 樋口 秀
3. 「地方小都市における都市縮小対策と課題
～長野県飯田市の中山間地域の拠点形成の取り組みから～」 (14:05～14:20)
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授 浅野 純一郎
4. 「歴史性を活かした広域拠点と市民主体の地区拠点」 (14:20～14:35)
千葉大学 工学研究院 建築学コース 准教授 松浦 健治郎
5. 「市民協働・市民主体の多様な拠点像」 (14:35～14:50)
埼玉大学 人文社会科学部 准教授 内田 奈芳美

休憩 10 分程度

【第二部 パネルディスカッション】 (15:00～15:55)

パネリスト：野嶋 慎二、樋口 秀、浅野 純一郎、松浦 健治郎、内田 奈芳美（前掲、登壇順）

コーディネーター：小野寺 一成（三重短期大学 生活科学科 居住環境コース 准教授）

まとめ (15:55～16:00)

